

## 学びの共同体づくり

～職員による一人1実践の取り組みを通して～

### I 研究の内容

#### 1 研究仮説①

一人ひとりの職員の力量が高まり、職員間の和が深まれば、教育活動は自然と活性化し、子ども達に豊かな教育を保証することが出来るようになるのではないか。

#### 2 研究仮説②

身の回りにある情報を確実に消化し自分のものにすることにより、一人ひとりの職員の力量が高まり、そのことにより教育活動は今以上に活性化するのではないか。

#### 3 研究の具体的内容と方法

##### (1) 知育向上の方策として

食教育・国語科・理科・生活科の授業研究を通して考えていく。

##### (2) 徳育向上の方策として

「心温まる学級づくりを目指して」「特別支援教育」「教育環境づくり」「児童会活動による児童の育成」「特色ある学校づくり」等の提案に対する研究協議により理解を深めていく。

##### (3) 体育向上の方策として

体育科の授業研究を通して、よく考えられた運動の場の設定を工夫するなどして、楽しみながら運動に親しみ、自然と体力や気力が充実していく指導を研究していく。

### II 成果と課題

#### 1 成果

- ・一人1実践のとりくみということで、各自がやりやすい部分での提案ができて良かった。  
また、それぞれの授業が主張を持ったもので勉強になった。いろいろな方法を知ることができた。
- ・知識や実践を共有することにより、異職種への理解を深め、また個々の優れた部分を認め合い、より良い協働体制がとれるようになった。
- ・一人1実践の提案をし、いろいろなジャンルから子ども達の豊かな教育環境作りにせまることができた。

- ・学校多忙化の中、校内研の時間に講習会で得た貴重な知識や情報を他の職員に伝える時間を設けることができた。
- ・聞くこと話すことの基礎基本に関する研修会では、伝え合う力を育てるために児童の学校生活全体を通して話すこと、聞くことに関する指導機会をつくっていく必要があることがわかった。

## 2 課題

- ・さらに深めることができれば良い。
- ・研究授業時期の分散化。

## Ⅲ 主な成果物（指導案名、ワークシート、資料等）

### 1 第1学年 生活科授業案

- (1) 単元名 「とびだせあそびたい（ふゆ）」
- (2) お手玉 けんだま おはじき あやとり こま はねつき

### 2 第2学年 国語科「読むこと」学習指導案

- (1) 教材名 「お手紙」
- (2) がまくんとかえるくんのお面 ワークシート

### 3 第3学年 体育科学習指導案

- (1) 単元名 基本の運動（器械・器具を使つての運動ー跳び箱を使つての運動）
- (2) 跳び箱 学習カード

### 4 第4学年 理科学習指導案

- (1) 単元名 もののかさと温度
- (2) 理科学習カード① ②

### 5 第5学年 保健体育科学習指導案

- (1) 単元名 バスケットボール
- (2) ボール運動を楽しもう「バスケットボール学習カード」

### 6 第6学年 学級活動（給食指導）授業案

- (1) 題材 「カルシウムのはたらき」と「骨粗しょう症」
- (2) ワークシート

### 7 情報教育研修会

- (1) 題名 「エクセルの関数活用」について
- (2) 演習用エクセルファイル

### 8 特別支援教育研修会

- (1) 題名 「特別支援コーディネーターとして」
- (2) 実態把握のためのチェックシート 校内実態把握整理表

### 9 児童会活動についての研修会

- (1) 題名 「自ら学び、進んで活動できる児童の育成」
- (2) 児童会年間活動計画表

(研究主任 大沢国雄)